

### 第8回環境フェスタ

# 1500人の来場で賑わう



上村市長は、市内の寺社などの場所を当てるジオラマゲームに挑戦され、見事全問正解でした。

2019年11月17日(日)に「第8回環境フェスタ in KYOTANABE」を開催し、昨年を上回る約1500人の来場があり、今年も大盛況でした。

枚方市環境部からも出展があり、枚方市の小山副市長も上村市長と一緒に、1時間以上にわたって熱心に各ブースを視察されました。



## 新たに3団体が出展

環境フェスタには今年新しく3つの団体が出展されました。

フードバンク京田辺は、同志社国際高等学校の学生と一緒に、フードロス問題への取り組みと、地球の環境悪化を訴えるスライドを流しました。

同志社女子大学まちづくり委員会は、エコと防災の観点から、クイズや工作を行いました。

富士ゼロックス京都株式会社は、クールチョイス啓発事業の一環として、エコドライブシミュレーターの体験を行いました。



フードバンク京田辺  
同志社国際高等学校



同志社女子大学まちづくり委員会



富士ゼロックス京都株式会社

# 体験乗馬は今年も大人気

京都府警察平安騎馬隊の体験乗馬は今年も大人気で、整理券は30分あまりでなくなりました。保護者が熱心に馬に乗った子どもの姿を写真に撮っていましたが、中には3歳になったばかりの子が馬を怖がって泣き、乗馬できず、残念がっていた親もいました。



## 出展ブースの風景



牛乳パックでポストカードを作ろう!!  
(共働 Space ふくろう工房)



もったいない子どもポスター展  
(京田辺エコパークかなび)



水素自動車 MIRAI の展示  
(京都府地球温暖化対策課他)



エネルギーと環境について学ぼう  
(関西電力株式会社)



色々なところで使われるつばきのチェーン商品  
(株式会社樁本チエイン)



ごみ分別クイズ・パッカー車操作体験  
(京田辺市環境衛生センター甘南備園)



木津川の絶滅のおそれのある植物  
(やましろ里山の会)




地産地消で地域を元気に!  
(さんさん山城)



宅配便の再配達を減らそう!  
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)

# 来場者アンケート結果

- 参加は何回目ですか  
5回以上=36% 3回目=24% 2回目=14% 初めて=14% 4回目=12%
  - 興味があったブースは  
①大阪ガス：環境クイズ  
②枚方京田辺環境施設組合：エコバッグ作り  
③すきなまち京田辺塾：動画・写真展示
- 
- いつから京田辺に住んでいますか  
10~29年=40% 30年以上=35% 10年以内=25%
  - これから京田辺に住んでいたい方が95%でしたが、その理由は  
自然が豊かである=29% 交通が充実している=26% 空気や水が綺麗=17%  
静か=14%
  - 京田辺に住んでいて困っていることは  
バスが不便=28% 川が汚い=20% 坂道が多い=18% 野犬や野良猫が多い=18%  
野焼きの煙がイヤ=13% その他意見=JRの本数が少ない
  - 日頃からエコに取り組んでいますか  
少しずつ=73% 積極的に取り組んでいる=20% 全く取り組んでいない=0%
  - フェスタを見てどう感じましたか  
大いに参考になった=50% 少しは関心を持とうと思う=50%

## <出展者からの意見>

### ○広報の方法について

- ・「十分できていた」と「ますます」が50%ずつ。
- ・チラシを同志社や小学校にも積極的に配布すればもっと効果があるのでは。
- ・産業祭と抱き合わせではなく、独自のチラシを全戸配布できないか。

### ○ブースへの参加人数と印象

- ・「ますます成功」が80%で、楽しかったという印象。
- ・せっかく水素自動車を展示してもらったのに、ボンネットを開けてみるとか、水素から発電する仕組みとか、災害時の使い道とか、参加者にもっとPRできれば、という意見もあった。

# 各チームとも活発に活動しています

てくてく見て歩きの会

## 第39回エコウォーク



牛廻しの跡の碑を見る参加者

11月18日（金）に「信仰の石を巡る」をテーマとした第39回エコウォークを開催し、一般市民含む9人で大住～松井地区を歩きました。

最初に「大住公園」内にある「舞ヶ辻跡」という碑を見ました。これは、昔甘南備山に舞を奉納したという碑で、このことから、甘南備山登山口駐車場辺りの小字名は「舞ヶ辻」といい、横を流れる川も「舞ヶ辻川」と名付けられているそうです。

最後に行った松井諏訪ヶ原には、「牛廻しの跡」という石碑があり、昭和30年代までは農耕の主力が牛だったので、毎年6月6日には農耕を休んで牛を飾り立てて、ご馳走を食べさせて慰労したという行事の名残の記念碑とのことでした。

## 紅葉の名所巡り

ゆうゆうサイクルの会

11月30日（土）に市民5人と会員7人で新田辺駅に集合し、「紅葉の名所サイクリング」を行いました。

最初に行った東地区の大徳寺にある樹齢200年のイチョウは、まだ青葉が残っていて、逆に最後に行った一休寺では、カエデの紅葉が見ごろを過ぎていたのが少し残念でしたが、好天に恵まれ、快適にサイクリングを楽しめました。

飯岡の古墳群や昨岡（くいおか）神社などを巡り、普賢寺ふれあいの駅で

は薪ストーブを囲んで昼食と買い物を楽しみ、午後は酒屋神社から中央公民館へ行き、堀切遺跡から発掘された家形石棺やハニワを見学した後、一休寺へ行きました。参加者からは、「近くに住んでいながら、こんなところは初めて！」と喜んでもらえました。



壽寶寺の脇道を走る

一休寺の紅葉を見る

# ドングリ探検隊！出動



今年で4回目になるドングリイベントの「ドングリ探検隊」が12月8日（日）に出動しました。親子16人、会員8人、同志社大学「えこまな@京田辺」から隊員4人が出動。田辺公園のドングリの特徴、見分け方の説明を受け、3部隊に分かれて出発しました。中央公民館前から探索を開始し、体育館周辺、公園南の散策路、芝生広場を歩き、7種類のドングリを発見しました。

その後、中央公民館へ持ち帰り、名前を調べて板に貼り付けて標本作りをしました。子どもたちからは、「公園にたくさんのドングリがあるのを初めて知った」「探すのがとてもおもしろかった」「種類の違いが良くわかった」「標本作りがおもしろかった」などが聞かれ、ドングリへの関心が深まったと思われます。

## ドングリ雑感

ドングリはブナ科の実の総称で、日本には22種あります。そのうち田辺公園には7種あります。縄文時代から食べられていて、ツブラジイはおいしく、先日も薪神社で拾っていたら「子どもの頃はよく食べていた」と、おばあさんに声をかけられました。マテバシイはおいしくなく、「しばらく待てばおいしくなるかも」ということからこの名前をつけられたという説もあります。ホントかな？

京奈和自動車道は「どんぐり街道」と書いてありますが、誰が名付けたのでしょうか！！

## もったいないチーム

# 初のクールチョイス相談所

京田辺市がクールチョイスの啓発に取り組んでいることに合わせ、従来の「うちエコ診断」に代えて、新バージョンの「クールチョイス相談所」を開催しました。1月15日（水）に市役所ロビーで市民16人を診断し、賢い選択について話しました。参加者の方からは「冷蔵庫が節電タイプになっていることを知らなかった」という声もありました。



# 夏休みエコ工作



8月20日（火）に中央公民館で「夏休みこどもエコ工作教室」を開催しました。小学生15人と保護者が参加して、牛乳パックを材料に、ソーラー発電で音楽が鳴るメロディーハウスを作りました。低学年には少し難しいところもありましたが、大人が手伝って無事に完成。窓際で太陽の光を当てるとオルゴールが鳴って嬉しそうでした。

# 木津川清掃活動に参加を

国土交通省などが主催して、毎年木津川の清掃活動が行われていて、当会も参加しています。今年も、2月16日（日）9時～10時半に、京田辺市内では山城大橋周辺と田辺木津川運動公園の2箇所で行われます。参加できる会員の方は、事務局まで連絡してください。

一人一人が意識してまちをきれいにしましょう

公共の場所に放置してあるゴミを見つけたら、自分で処理できるものは拾う習慣をつけましょう。パートナーシップは「美しい京田辺の環境を未来に引き継ぐ」ために活動しています。会員として、意識を持ち、みんなでまちをきれいにしましょう。

道路上に、自分では処理できない大きなゴミが捨てられていた場合は、写真を撮るなどして、道路管理者に伝えましょう。

## 今後の活動予定

### もったいないチーム

- 3月25日（水）子どもエコ工作教室  
「電気を使わないおもちゃ作り：万華鏡」  
3年生以上、先着15人募集。  
詳しくは3月1日号の広報に掲載。

### 自然チーム

- 2月23日（日）野鳥観察会  
9時30分中央公民館集合  
先着20人募集
- 4月12日（日）、23日（木）  
公園の維持管理でタケノコ掘り  
各日20人募集（小学生以下は保護者同伴）

### ゆうゆうサイクルの会

- 4月頃予定 春のサイクリング（計画中）

### てくてく見て歩きの会 エコウォーク「防災篇」を企画

エコウォークは次回で四十回目になり、京田辺内や近隣の町の主なところも概ね回り終えたので、次回からは、「防災篇」を企画することになりました。府・市から発行されている「防災マップ」を持って、実際に危険箇所などを確認して歩こう、というものです。川や池は氾濫しないか、どの方向へ避難すればよいか、などを確認して回ります。六月上旬に開催予定で、五月一日号の市の広報紙「ほっと京田辺」でご案内します。